

チュートリアル課題 気のせいですか?きのせいです!

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-06-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00033197

2018年度 Segment. 5

課 題 No.1

課題名：気のせいですか？きのせいです！

課題作成者：消化器外科学
消化器内視鏡科
解剖学

有泉俊一
中村真一
本多祥子



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

Aさん（25歳，女性）は、入社して3年目。最近、残業も多くストレスの多い毎日です。3ヶ月にわたり胃のあたりの不快感に悩んでいます。今日はとうとう医師に診てもらおうことにし診療所を受診しました。

Aさん：「この3ヶ月間、食事をしてももたれ感があり、すぐにお腹がいっぱいになってしまいます。胃が働いていないみたいです。」

Aさん：「食べたい気もしなくなり、消化が悪い気がして、痩せるのではないかと心配です。」

シート2

医師：「お腹は痛いですか？」

Aさん：「食後にみぞおちが痛みます。」

医師：「ではお腹を診察させてください。」

医師は腹部を観察した後に、聴診器を取り出しました。

医師：「お腹の音を聴きます。」

Aさん：「どんな具合ですか？」

医師：「腸の音は。。。」

医師：「お腹を触ります。痛みがあったら教えてください。」

医師は腹部を丁寧に触診しています。

Aさん：「そこが痛みます。そこは何ですか？」

シート3

医師：「念のため、いくつか検査をしてみましょう。」

「この検査には同意書が必要です。説明（内容）をよく読んでサインをお願いします。」

Aさん：「わかりました。これまで検査なんて受けたことはありません。」

すべての検査を終了したAさんは、後日、医師と面談し、説明を受けました。

Aさん：「先生、結果はどうでした？病気ですか？」

シート4

医師：「検査には何も異常がありませんでした。よかったですね。」

Aさん：「では、きのせいでしょうか？」

医師：「そうです。機能性です。」

Aさん：「よく病は気からといいますものね。よかったです。きのせいで。」

医師：「そうではありません。機能性胃腸症です。」

Aさん：「???'」